



平成 29 年 1 月 27 日

各 位

会 社 名 セブンシーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤堂 裕隆
(コード番号 3750 東証第二部)
問合せ先 取締役経営企画部長 関 裕司
(TEL. 03-5501-4100)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日付で別途開示しております「フィナンシャルソリューション事業の資産の一部譲渡に関するお知らせ」のとおり資産譲渡を実施する見込みとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、直近の業績推移を踏まえ、本日付にて平成 28 年 8 月 12 日に公表しました連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	一株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 28 年 8 月 12 日発表)	3,000	50	50	0	0 円 0 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	3,000	△210	△220	△270	0 円 0 銭
増 減 額 (B-A)	0	△260	△270	△270	—
増 減 率 (%)	0.0%	—	—	-	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	2,684	△243	△247	34	23 円 75 銭

2. 修正の理由

(1) フィナンシャルソリューション事業

本日付で別途開示しております「フィナンシャルソリューション事業の資産の一部譲渡に関するお知らせ」のとおり、当社グループの中核事業におけるフィナンシャルソリューション事業において保有している買取債権及び販売用不動産を平成 29 年 2 月 10 日及び平成 29 年 2 月 28 日をもって外部の第三者に売却予定であります。

そのため、資産譲渡による 11 億円ほどの売上高を計上する一方で、平成 29 年 2 月及び 3 月に回収予定の買取債権及び保有不動産の売却分に相当する 10 億円ほどの減収が見込まれ、それに伴う利益相当額及び第 3 四半期累計期間における保有不動産の売却状況が予算に対して遅れていることに鑑み、80 百万円ほどが減益となる見込みであることから修正いたします。

以上により同事業において、計画値に対して 100 百万円の増収、営業利益で 80 百万円ほど下回る見込みとなりました。

(2) メディアアンドマーケティング事業

メディアアンドマーケティング事業は、インターナショナル・ラグジュアリー・メディア(株)から構成されており、同社は主にコンビニエンスストア向けに「楽々ダイエット腹巻」や「骨盤ダイエットバンド」等の健康グッズ商材を取次業者経由で委託し、販売しております。

業績予想を修正する理由といたしましては、平成 28 年 3 月期に委託した商材が当期に想定以上の返品を受け、夏場商材の返品率が高い水準で推移したことから、第 3 四半期累計（平成 28 年 4 月～12 月）の実績が予算を下回る見込みとなることに加え、次のとおり第 4 四半期（平成 29 年 1 月～3 月）の委託方針の変更によるものであります。

同社の取扱商品の大半は腹巻であるため、冬場に売り上げが増加することから予算数値は第 4 四半期に傾斜しております。そして、第 4 四半期の委託数に関しまして、昨年より取次業者と交渉を行い、平成 29 年 1 月に入り、先方より最終的な提示がありました。

しかしながら、その内容は、同社の取扱商材の返品率やコンビニエンスストアの市場動向等の理由により、当初予定していた委託数を下回る水準となるものでした。こうした状況下において、追加委託を無理に行うことは、入在庫等に伴うコストが増加し、収益も悪化する可能性が高いと考え、追加委託を控え、来期以降の適正な時期に再委託する方針といたしました。

以上を踏まえ、現時点で平成 29 年 3 月期の通期業績見込を合理的に見積もったところ、計画値に対して 100 百万円の減収、営業利益で 180 百万円ほど下回る見込みとなりました。

上記理由により、売上高 3,000 百万円、営業利益△210 百万円、経常利益△220 百万円、親会社に帰属する当期純利益△270 百万円を計上する見込みとなります。

以 上

【業績予想に関する注意事項】

当業績予想は、発表日現在入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因により、計画数値と異なる可能性があることを予めご承知おきください。